

石川県立自然史資料館  
担当 石丸信一  
金沢市銚子町リ 441  
Tel (076) 229-3450  
Fax (076) 229-3460

## 石川県立自然史資料館 第16回企画展の開催について

1. 名称 植物学者・<sup>まさむねげんけい</sup>正宗巖敬と植物図
2. 概要 植物学者の<sup>まさむねげんけい</sup>正宗巖敬（1899～1993、元金沢大学教授）による植物図を展示する。学術誌の図版など、貴重な初公開資料を含む。
3. 会期 2月1日（土）～5月25日（日） 会期中無休  
9:00～17:00（入館は16:30まで）
4. 会場 石川県立自然史資料館（金沢市銚子町リ 441）
5. 入場料 無料
6. 主催 石川県立自然史資料館
7. 問合わせ 石川県立自然史資料館 電話076-229-3450
8. 添付資料 案内チラシ

※ 自然史資料館ホームページ <http://www.n-muse-ishikawa.or.jp>

(973)

第16回企画展

# 植物学者

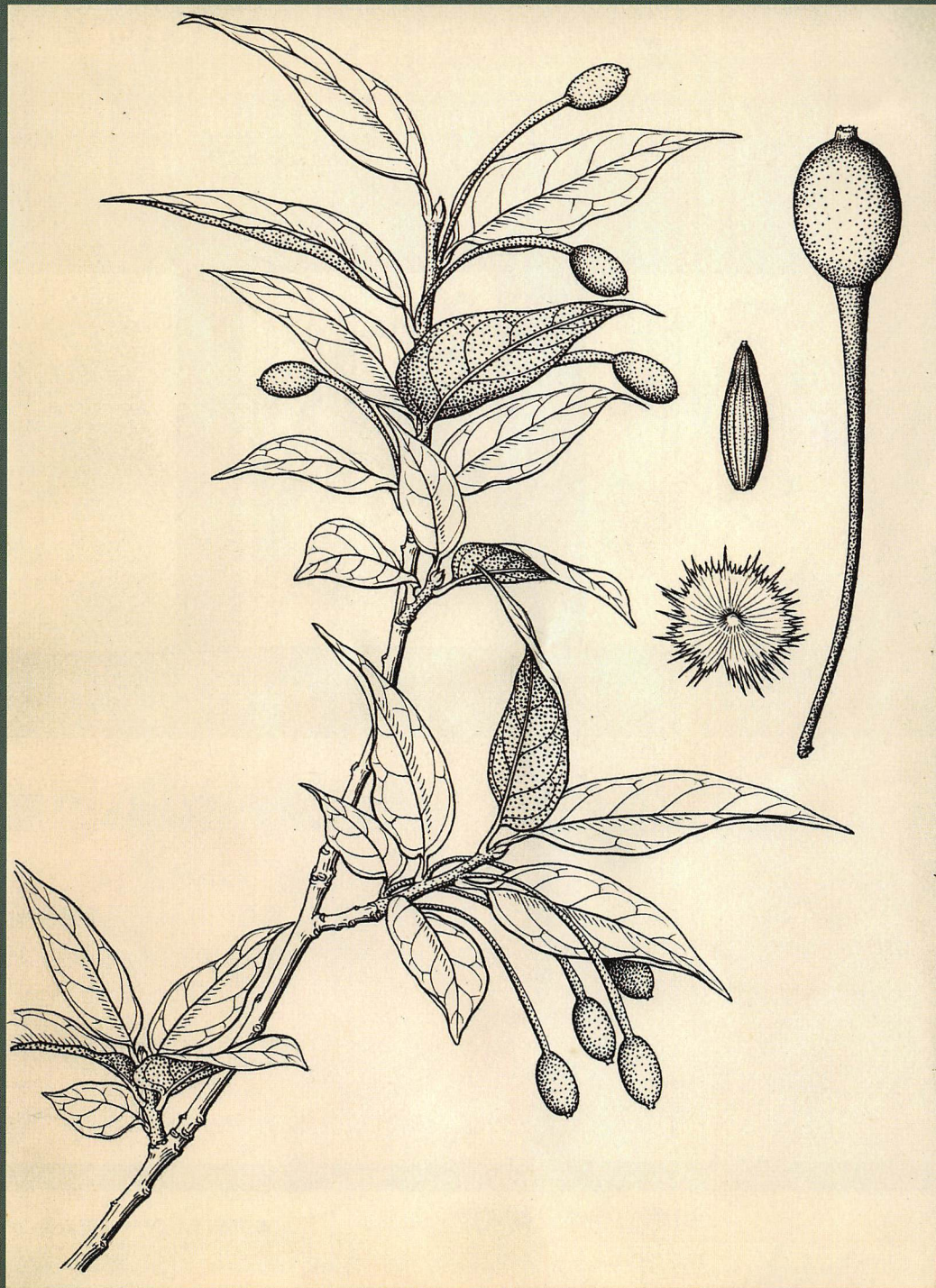
まさ

# 正宗 嚴敬と植物図

むね

げん

けい



石川県立自然史資料館

2014.

2.1 **土** ▶ 5.25 **日**

〒920-1147 金沢市銚子町441番地  
TEL: 076-229-3450 FAX: 076-229-3460  
<http://www.n-muse-ishikawa.or.jp/>

- 会期中無休
- 入場無料
- 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 4月1日(火)より一部展示替えします。

第16回企画展 まさむねげんけい 植物学者・正宗巖敬と植物図

正宗巖敬(1899~1993)は、台湾、琉球列島・屋久島、北陸地方における植物地理・分類学の分野で大きな功績を残した植物学者です。台北帝国大学で教鞭をとった後、金沢大学の植物第一講座(植物地理・分類学)を創設して初代教授となりました。多くの研究者・教師を育てるとともに、学術雑誌「植物地理・分類研究」を創刊し、多数の論文や調査報告、観察記録の発表、学術交流に尽力しました。

石川県立自然史資料館には、正宗巖敬が分類研究のために描いた「植物図」が多数収蔵されています。植物図(ボタニカル・イラストレーション)は、研究者が植物を観察して、形態や構造を正確に記録した図であり、新種の発表や、論文、図鑑、分類学の専門書には欠くことのできないものです。

本企画展では、当館収蔵2,147点の植物図資料から約100点を選び、初公開します。植物図に表現されている形態の見方を解説するとともに、正宗巖敬の研究の足跡をたどり、観察に優れた彼の植物への熱い思いに迫ります。



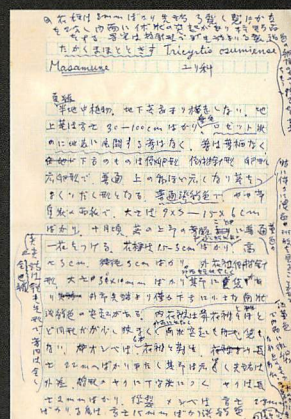
正宗巖敬  
1952年 尾瀬で



ツチアケビ  
「日本の植物第8巻」掲載原図



カンラン  
「日本の自生蘭第4集」掲載原図



正宗巖敬直筆原稿

【植物図をトレースしよう】

日時：4月27日(日) 9:30~12:30  
対象：高校1年生~大人 定員：20名  
申込方法：4月1日から電話受付(定員に達し次第締切)  
講師：梅林正芳氏(金沢大学理工学域自然システム学系助手  
ボタニカルイラストレーター)

細密な描写が魅力の植物図をトレースから始めてみましょう。  
「大人の写し絵」に挑戦!

講演会【植物図とは何か?】

日時：5月6日(火・振替休日) 14:00~15:30  
対象：どなたでも 定員：100名 申込不要  
講師：梅林正芳氏(金沢大学理工学域自然システム学系助手  
ボタニカルイラストレーター)

植物図とは、どのような図なのかを、植物画(ボタニカルアート)や一般的な写生画と比較し、どのように描かれているかを解説します。また、写真との違いを具体的に検証し、その必要性や魅力をお話します。

企画展関連行事

●自動車で・・・JR金沢駅から約30分



石川県立自然史資料館 案内図



●路線バスで・・・金沢駅東口バスターミナルから



3番乗り場

『12 湯涌温泉ゆき』  
→銚子口/バス下車  
→徒歩約10分

『12 北陸大学薬学部ゆき』  
『12 北陸大学太陽が丘ゆき』  
→北陸大太陽が丘/バス下車  
→徒歩約10分

6番乗り場

『95 北陸大学太陽が丘ゆき』  
→北陸大太陽が丘/バス下車  
→徒歩約10分



<拡大周辺地図>